社会医療法人　筑水会　R7年度　勤務環境改善対策

法人理念	高度な精神医療と身近な地域医療の実践
法人目標	職員の業務負担や処遇について、精査し、働きやすい職場環境を整える。改善によりさらに地域に貢献できる、質の高い医療を提供する。また、職員が健康で安心して働ける職場を目指す。

今年度の取り組み
1．有給休暇取得率の維持・向上を図る
①前年度を維持し、取得率の低い職員への呼びかけをし、取得しやすい風土づくりを行う ②取得率の低い部署への働きかけと業務の効率化に向けた改善を図る
2．超過勤務時間の短縮を図る
①超過勤務時間の多い部署へ業務分散や効率化に向けた改善ができるのか働きかけを行う ②超過勤務時間のデータを月ごとに集計し、２、3カ月に一度共有し、振り返る機会を提供する
3．業務負担や改善に向けた話題を共有しやすく、職員からの意見が聴取しやすい風土づくりを行う
①各部署でミーティング等の意見交換できる場を定期的に設ける ②職員への調査を通して、ワーク・ライフ・バランスやキャリアUPについての意識を把握する
4．DX化を図り、業務の効率化に繋げる
①入院患者さんの安全な生活へと繋げ、サービスの向上を図る ②洗濯代、おむつ代、通信費等の集計や支払いに関する業務の効率化を図る

看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

今年度の取り組み
1．看護職員の人材確保に努める
①継続的な求人活動の実施 ②障害者雇用に繋がる体勢づくりの定着と人材育成
2．夜勤負担の軽減に努める
①勤務条件を配慮した人員配置に努める
②72時間ルールの遵守に努めた勤務を作成する
3．柔軟な勤務形態の整備に努める
①時短勤務・夜勤免除、柔軟な勤務シフトの作成 ②職員のニーズと職員の特性を考慮した配置、相談しやすい風土作り
4．看護職員と他職種との業務分担を行い、負担軽減に繋げる
①リハビリ職種が日常動作訓練を実施することにより、患者のADL向上に繋げる ②ICカードの導入による事務的作業の効率化を図る

Ａ２病棟　看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

項　目		令和7年度目標	課　題	具体的な取り組み
3	業務内容見直し	安心、安全に業務に取り組める職場環境を作る	業務が煩雑化している部分を見直し効率化を図る 患者ケアの充実を図るなど見直した業務の定期的な評価が不十分	業務改善を行った内容を数ヶ月ごとにカンファレンスを行い、見直す 受け持ち患者や検討が必要な患者を朝礼時に多職種でカンファレンスを行い、ケアの充実を図る
1	年次有給休暇をはじめとする休暇取得の促進	平均的な有休取得のため業務の整理・改善、人員配置等を行うことで取得できる環境を整備する 全体有給取得率70％目標	看護補助者の人員不足 業務改善	全体有給取得率目標を達成するために、業務内容の整理、勤務希望時の平均的な有給取得を目指す 勤務人数の調整を行い平均的な勤務人数を確保、突発的な有休取得にも対応できる体制を整える
4	専門職としての キャリアアップ支援	研修情報の共有のため研修お知らせを掲示、研修参加の際の研修費用の補助を検討し研修参加しやすい環境を作る 全体研修への参加率を上げる	勤務人数により研修参加できる人員が限られてくる	研修日は勤務人数を多めに配置し研修参加できる環境を作る 外部の研修など自身のスキルアップのための研修参加希望時は勤務調整を行い参加できるよう配慮する 業務についても参加できるよう調整を行う。

社会医療法人　筑水会　R7年度　勤務環境改善対策

法人理念	高度な精神医療と身近な地域医療の実践
法人目標	職員の業務負担や処遇について、精査し、働きやすい職場環境を整える。改善によりさらに地域に貢献できる、質の高い医療を提供する。また、職員が健康で安心して働ける職場を目指す。

今年度の取り組み
1．有給休暇取得率の維持・向上を図る
①前年度を維持し、取得率の低い職員への呼びかけをし、取得しやすい風土づくりを行う ②取得率の低い部署への働きかけと業務の効率化に向けた改善を図る
2．超過勤務時間の短縮を図る
①超過勤務時間の多い部署へ業務分散や効率化に向けた改善ができるのか働きかけを行う ②超過勤務時間のデータを月ごとに集計し、２、3カ月に一度共有し、振り返る機会を提供する
3．業務負担や改善に向けた話題を共有しやすく、職員からの意見が聴取しやすい風土づくりを行う
①各部署でミーティング等の意見交換できる場を定期的に設ける ②職員への調査を通して、ワーク・ライフ・バランスやキャリアUPについての意識を把握する
4．DX化を図り、業務の効率化に繋げる
①入院患者さんの安全な生活へと繋げ、サービスの向上を図る ②洗濯代、おむつ代、通信費等の集計や支払いに関する業務の効率化を図る

看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

今年度の取り組み
1．看護職員の人材確保に努める
①継続的な求人活動の実施 ②障害者雇用に繋がる体勢づくりの定着と人材育成
2．夜勤負担の軽減に努める
①勤務条件を配慮した人員配置に努める
②72時間ルールの遵守に努めた勤務を作成する
3．柔軟な勤務形態の整備に努める
①時短勤務・夜勤免除、柔軟な勤務シフトの作成 ②職員のニーズと職員の特性を考慮した配置、相談しやすい風土作り
4．看護職員と他職種との業務分担を行い、負担軽減に繋げる
①リハビリ職種が日常動作訓練を実施することにより、患者のADL向上に繋げる ②ICカードの導入による事務的作業の効率化を図る

Ａ３病棟　看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

項　目		令和7年度目標	課　題	具体的な取り組み
3	働きやすさ確保のための環境改善	職員が健康で安心・安全に働ける職場環境作り	設備や備品が経年劣化により損傷や使用しづらさ等、不具合がある。	設備や備品修理を依頼（損傷している壁、ベッドストッパー４台分、浴室床面：12月10日間工事予定）担当より定期点検（１回/日）を実施、必要時は責任者が修理依頼を行う。
1	業務内容見直し	職員が健康で安心・安全に働ける職場環境作り	煩雑化な業務を見直し、効率化を図る。また、有効に時間を活用し患者ケアの充実を図る。業務の定期的な評価が不十分である。	煩雑化している業務を定期的（１回/２ヶ月程度）に業務改善ﾐｨｰﾃｨﾝｸﾞの議題に挙げ、見直し、検討、修正を行う。追跡評価を行い、継続して取り組む。（直近では排便確認方法、入浴介助、食事時の見守り）
1	有給休暇の取得促進	有給取得率の向上	R6取得率90.35％職種や人により取得率にばらつきがある。	有給取得率の低いｽﾀｯﾌへは声かけ、業務調整を行う。　業務内容の効率化をめざし、業務整理・改善を行う。　人員確保および配置（労力を費やす業務は人員調整や曜日の調整を行う）
4	キャリアアップ支援	接遇面、患者対応に関する技術力の向上やモチベーション、働きがいの向上を図る。病棟全体で意識向上を目指す	業務が煩雑化している状況下、接遇面や患者対応にて余裕がなくなる面がある。	院内や外部研修情報を伝え、研修会の参加促進、必要時は伝達講習を行う。eラーニングの活用。接遇担当者を中心にスローガンを元に取り組む。病棟独自に１回/２ヶ月評価を行い、課題を話し合い改善に取り組んで

社会医療法人　筑水会　R7年度　勤務環境改善対策

法人理念	高度な精神医療と身近な地域医療の実践
法人目標	職員の業務負担や処遇について、精査し、働きやすい職場環境を整える。改善によりさらに地域に貢献できる、質の高い医療を提供する。また、職員が健康で安心して働ける職場を目指す。

今年度の取り組み
1．有給休暇取得率の維持・向上を図る
①前年度を維持し、取得率の低い職員への呼びかけをし、取得しやすい風土づくりを行う ②取得率の低い部署への働きかけと業務の効率化に向けた改善を図る
2．超過勤務時間の短縮を図る
①超過勤務時間の多い部署へ業務分散や効率化に向けた改善ができるのか働きかけを行う ②超過勤務時間のデータを月ごとに集計し、２、3カ月に一度共有し、振り返る機会を提供する
3．業務負担や改善に向けた話題を共有しやすく、職員からの意見が聴取しやすい風土づくりを行う
①各部署でミーティング等の意見交換できる場を定期的に設ける ②職員への調査を通して、ワーク・ライフ・バランスやキャリアUPについての意識を把握する
4．DX化を図り、業務の効率化に繋げる
①入院患者さんの安全な生活へと繋げ、サービスの向上を図る ②洗濯代、おむつ代、通信費等の集計や支払いに関する業務の効率化を図る

看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

今年度の取り組み
1．看護職員の人材確保に努める
①継続的な求人活動の実施 ②障害者雇用に繋がる体勢づくりの定着と人材育成
2．夜勤負担の軽減に努める
①勤務条件を配慮した人員配置に努める
②72時間ルールの遵守に努めた勤務を作成する
3．柔軟な勤務形態の整備に努める
①時短勤務・夜勤免除、柔軟な勤務シフトの作成 ②職員のニーズと職員の特性を考慮した配置、相談しやすい風土作り
4．看護職員と他職種との業務分担を行い、負担軽減に繋げる
①リハビリ職種が日常動作訓練を実施することにより、患者のADL向上に繋げる ②ICカードの導入による事務的作業の効率化を図る

Ａ４病棟　看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

項　目		令和7年度目標	課　題	具体的な取り組み
1	有給休暇の取得促進	個々が所得している有給休暇を年度間で消化できるよう働きかける	個々が取得している有給休暇を消化出来るように配慮する。	看護助手の有給消化率が低いため、全体を通して均等に平等に有給が取得できるよう配慮する。また、人員に余裕がある際は、積極的に有給消化を呼びかけていく。
4	専門職としてのキャリアアップ支援	個々に応じた役割を積極的に提供評価する事でモチベーションアップに繋げる。	日々の業務を行う事で個々の専門職としてのキャリア、スキルアップする機会、時間がとれない。	院内外での研修参加を積極的に促し個々のスキルアップおよびモチベーションアップに繋げていく。特に院内での全体研修は、勤務表作成時および当日の業務を調整（簡素化）し一人でも多く参加できるよう配慮していく。
3	働きやすさ確保のための環境改善	安心、安全に業務に取り組める職場環境を作る	施設の設備・修繕改善箇所やスタッフ及び患者間の人間関係で安全、安心に業務に取り組めない。	カンファレンスを有効活用し、改善点を出し合い設備の損傷、修繕箇所をいつまでに改善できるか明確にし、安全、安心して業務にあたれるよう職場環境の調整、改善を図る。

社会医療法人　筑水会　R7年度　勤務環境改善対策

法人理念	高度な精神医療と身近な地域医療の実践
法人目標	職員の業務負担や処遇について、精査し、働きやすい職場環境を整える。改善によりさらに地域に貢献できる、質の高い医療を提供する。また、職員が健康で安心して働ける職場を目指す。

今年度の取り組み
1．有給休暇取得率の維持・向上を図る
①前年度を維持し、取得率の低い職員への呼びかけをし、取得しやすい風土づくりを行う ②取得率の低い部署への働きかけと業務の効率化に向けた改善を図る
2．超過勤務時間の短縮を図る
①超過勤務時間の多い部署へ業務分散や効率化に向けた改善ができるのか働きかけを行う ②超過勤務時間のデータを月ごとに集計し、２、3カ月に一度共有し、振り返る機会を提供する
3．業務負担や改善に向けた話題を共有しやすく、職員からの意見が聴取しやすい風土づくりを行う
①各部署でミーティング等の意見交換できる場を定期的に設ける ②職員への調査を通して、ワーク・ライフ・バランスやキャリアUPについての意識を把握する
4．DX化を図り、業務の効率化に繋げる
①入院患者さんの安全な生活へと繋げ、サービスの向上を図る ②洗濯代、おむつ代、通信費等の集計や支払いに関する業務の効率化を図る

看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

今年度の取り組み
1．看護職員の人材確保に努める
①継続的な求人活動の実施 ②障害者雇用に繋がる体勢づくりの定着と人材育成
2．夜勤負担の軽減に努める
①勤務条件を配慮した人員配置に努める
②72時間ルールの遵守に努めた勤務を作成する
3．柔軟な勤務形態の整備に努める
①時短勤務・夜勤免除、柔軟な勤務シフトの作成 ②職員のニーズと職員の特性を考慮した配置、相談しやすい風土作り
4．看護職員と他職種との業務分担を行い、負担軽減に繋げる
①リハビリ職種が日常動作訓練を実施することにより、患者のADL向上に繋げる ②ICカードの導入による事務的作業の効率化を図る

Ｂ２病棟　看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

項　目		令和7年度目標	課　題	具体的な取り組み
2	超過勤務時間の短縮	時間内に業務を終わらせ、定時に退勤できる	入退院、転入出、身体患者対応により多重業務となり、時間内に仕事が終わらない	業務に無駄が発生していないか、短縮できる業務はないかなどの見直しを行い、業務内容を改善する 職員の協力体制を整え、業務量を調整する
1	ワークライフバランスの維持・促進	夜勤明けの休みを確保し、希望有給100％取得できる	業務役割負担が多くなるため、休みが取りにくい	配慮した勤務表を作成する 休みやすい風土を醸成する
4	医療のDX化を図る	DX化により業務の効率化を図る	事務的作業が多く、充実した看護業務が行えない	人的・財政的・コスト削減に繋がるようDX化を積極的に導入していく DX化により医療業務の効率化や看護の質を向上させる

社会医療法人　筑水会　R7年度　勤務環境改善対策

法人理念	高度な精神医療と身近な地域医療の実践
法人目標	職員の業務負担や処遇について、精査し、働きやすい職場環境を整える。改善によりさらに地域に貢献できる、質の高い医療を提供する。また、職員が健康で安心して働ける職場を目指す。

今年度の取り組み
1．有給休暇取得率の維持・向上を図る
①前年度を維持し、取得率の低い職員への呼びかけをし、取得しやすい風土づくりを行う ②取得率の低い部署への働きかけと業務の効率化に向けた改善を図る
2．超過勤務時間の短縮を図る
①超過勤務時間の多い部署へ業務分散や効率化に向けた改善ができるのか働きかけを行う ②超過勤務時間のデータを月ごとに集計し、２、3カ月に一度共有し、振り返る機会を提供する
3．業務負担や改善に向けた話題を共有しやすく、職員からの意見が聴取しやすい風土づくりを行う
①各部署でミーティング等の意見交換できる場を定期的に設ける ②職員への調査を通して、ワーク・ライフ・バランスやキャリアUPについての意識を把握する
4．DX化を図り、業務の効率化に繋げる
①入院患者さんの安全な生活へと繋げ、サービスの向上を図る ②洗濯代、おむつ代、通信費等の集計や支払いに関する業務の効率化を図る

看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

今年度の取り組み
1．看護職員の人材確保に努める
①継続的な求人活動の実施 ②障害者雇用に繋がる体勢づくりの定着と人材育成
2．夜勤負担の軽減に努める
①勤務条件を配慮した人員配置に努める
②72時間ルールの遵守に努めた勤務を作成する
3．柔軟な勤務形態の整備に努める
①時短勤務・夜勤免除、柔軟な勤務シフトの作成 ②職員のニーズと職員の特性を考慮した配置、相談しやすい風土作り
4．看護職員と他職種との業務分担を行い、負担軽減に繋げる
①リハビリ職種が日常動作訓練を実施することにより、患者のADL向上に繋げる ②ICカードの導入による事務的作業の効率化を図る

Ｂ３病棟　看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

項　目		令和7年度目標	課　題	具体的な取り組み
1	有給休暇取得率の維持・向上を図る	個々が取得している有給休暇を消化出来るように配慮する。	有休取得に個人差が出ている。	勤務表作成時、個人の有休数を考慮しながら、意見、希望を取り入れる。業務上人員に余裕がある場合は、積極的に有休消化を促していく。
1	超過勤務時間の短縮を図る	業務分担、情報共有を密に行い、時間内業務が個人の負担とならないよう協力体制を確立する。	担当業務、特に入院担当時状況によっては時間内に終了する事ができない。また休憩時間が確保できない。	入院受けやドラッグ係時は医師の指示が遅れないよう効率よく主治医へ連絡を入れていく。入院対応の時間帯や状況によっては分担し、超過時間の軽減、休憩時間の確保に努める。
3	業務負担や改善に向け職員からの意見が聴取しやすい風土つくり	安心、安全に業務に取り組める職場環境を作る。	患者の入れ替わりの多さや煩雑な業務により、薬の取り扱いや患者誤認による誤投薬など、事故に繋がる可能性がある。	適宜業務改善カンファレンスを行い、スタッフの意見を吸い上げ、業務の見直しを行う。そこから、事故防止やスムーズな業務運びができる流れを構築していく。

社会医療法人　筑水会　R7年度　勤務環境改善対策

法人理念	高度な精神医療と身近な地域医療の実践
法人目標	職員の業務負担や処遇について、精査し、働きやすい職場環境を整える。改善によりさらに地域に貢献できる、質の高い医療を提供する。また、職員が健康で安心して働ける職場を目指す。

今年度の取り組み
1．有給休暇取得率の維持・向上を図る
①前年度を維持し、取得率の低い職員への呼びかけをし、取得しやすい風土づくりを行う ②取得率の低い部署への働きかけと業務の効率化に向けた改善を図る
2．超過勤務時間の短縮を図る
①超過勤務時間の多い部署へ業務分散や効率化に向けた改善ができるのか働きかけを行う ②超過勤務時間のデータを月ごとに集計し、２、3カ月に一度共有し、振り返る機会を提供する
3．業務負担や改善に向けた話題を共有しやすく、職員からの意見が聴取しやすい風土づくりを行う
①各部署でミーティング等の意見交換できる場を定期的に設ける ②職員への調査を通して、ワーク・ライフ・バランスやキャリアUPについての意識を把握する
4．DX化を図り、業務の効率化に繋げる
①入院患者さんの安全な生活へと繋げ、サービスの向上を図る ②洗濯代、おむつ代、通信費等の集計や支払いに関する業務の効率化を図る

看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

今年度の取り組み
1．看護職員の人材確保に努める
①継続的な求人活動の実施 ②障害者雇用に繋がる体勢づくりの定着と人材育成
2．夜勤負担の軽減に努める
①勤務条件を配慮した人員配置に努める
②72時間ルールの遵守に努めた勤務を作成する
3．柔軟な勤務形態の整備に努める
①時短勤務・夜勤免除、柔軟な勤務シフトの作成 ②職員のニーズと職員の特性を考慮した配置、相談しやすい風土作り
4．看護職員と他職種との業務分担を行い、負担軽減に繋げる
①リハビリ職種が日常動作訓練を実施することにより、患者のADL向上に繋げる ②ICカードの導入による事務的作業の効率化を図る

外来　看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

項　目		令和7年度目標	課　題	具体的な取り組み
2	業務内容の明確化	業務分担、情報共有を密に行い、業務が個人の負担とならないよう協力体制を確立する	業務時間内に終了することが出来ない、また休憩時間が確保できない	業務をサポートできるスタッフを常に確保しておく。上記を元に時間帯や状況によっては、業務を分担し、超過時間の軽減、休憩時間の確保に努める。休憩時間に関しては、通常決まっている時間設定にこだわらず、柔
1	有休取得	個々が取得している有給休暇を消化出来るよう配慮する	業務的に有休消化が困難。また個人差が出ている	個人の有休数を考慮しながら、隔たりなく有休消化に努める。業務上人員に余裕がある場合は、積極的に有休消化を促す。
3	働きやすさ確保のための環境改善	安心、安全に業務に取りくめる職場環境を作る	複雑、多様化する業務内容や患者対応が多く、事故に繋がる可能性がある	業務改善カンファレンスを行い、適宜業務の見直しを行う。細かいことでもスタッフの意見を吸い上げ、話し合いの場を設け、対応する。